

令和2年度シラバス(地理歴史)

学番21 阿賀黎明高等学校

教科(科目)	地理歴史(世界史A)	単位数	2単位	学年(コース)	1年
使用教科書	世界史A(東京書籍)				
副教材等	プロムナード世界史(浜島書店)				

1 学習目標

1. 近現代史を中心とする世界の歴史を、わが国の歴史と関連づけながら理解させる。
2. 人類が直面する課題を政治・経済・社会・文化・生活など様々な観点から考察させることによって、歴史的思考力を育てる。
3. 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を育成する。

2 指導の重点

- ①基礎的・基本的な事項の定着を図る。
- ②資料や統計を読み取る力を育てる。
○小テストを単元ごとに実施する。○授業に遅れがちな生徒に対する補習の実施。
○授業についてのアンケートを実施し、その結果を授業に反映する。○作業学習を取り入れる。

3 指導計画

月	単元	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4月	第1部 近・現代世界史の背景 第1章 ユーラシアの諸地域世界	教科書 図表	0 古代文明の成立 1 東アジア世界 2 東南アジア世界 3 南アジア世界 4 西アジア世界 5 ヨーロッパ世界	○東アジア世界について、漢字文化・儒教・中国を中心とする国際体制に注目させる。 ○東南アジア世界について、インド文化や中国文化の影響に注目させる。 ○南アジア世界について、仏教・ヒンドゥー教・カースト制度・イスラム教の影響に注目させる。 ○西アジア世界について、イスラム教の成立やヨーロッパに与えた影響について考察させる。 ○ローマ文化とキリスト教を基盤にしてヨーロッパ世界の展開を考察させる。	5	小単元テスト
5月	第1章 ユーラシアの諸地域世界 第2部 成熟するアジアと世界へ向かうヨーロッパ 第2章 アジア諸国帝国の繁栄とヨーロッパ	教科書 図表	6 南北アメリカ・アフリカ 7 ユーラシアの交流圏 2-1 中華帝国の繁栄 2-2 15～17世紀の東南アジア 2-3 西アジアと南アジア	○8世紀ごろのユーラシアの陸と海のネットワークについて考察させる。 ○13世紀頃のユーラシア世界ネットワークにおけるモンゴル帝国について考察させる。 ○明・清を中心に東アジア・東南アジアとのつながりを考察させる。 ○東南アジアを中国・イスラム・ヨーロッパの進出とともに理解させる。 ○ムガル帝国・オスマン帝国の繁栄を中心に他のイスラム世界を理解させる。	3	小単元テスト 定期考査
1学期中間考査					1	
5月	第2章 アジア諸国帝国の繁栄とヨーロッパ 第3章 大西洋世界の変容とその波及	教科書 図表	2-4 16世紀のヨーロッパ 2-5 主権国家体制と世界商業 3-1 ヨーロッパとアメリカの諸革命 3-2 産業革命と世界市場の拡大 3-3 ヨーロッパの動乱の波及	○ルネサンスや宗教改革とヨーロッパの海外進出について、理解させる。 ○ヨーロッパの主権国家・三角貿易について考察させる。 ○アメリカ独立革命・フランス革命・ナポレオン戦争の過程を啓蒙思想と絡めて考察させる。 ○産業革命成立の要因・結果・影響を考察させる。 ○ヨーロッパの動乱と大西洋世界やアジアの変動を考察させる。	5	小単元テスト
6月	第4章 産業化社会の拡大と成熟	教科書 図表	4-1 ウィーン体制とその崩壊 4-2 国民国家への道	○ウィーン体制の過程を自由主義・ナショナリズムを軸に考察させる。 ○英・仏の内政外交、米の南北戦争、伊・独の成立について理解させる。 ○ロシアと他の列強によるバルカンでの対立について考察させる。	7	小単元テスト 定期考査
1学期期末考査					1	
7月	第5章 アジア諸国の変貌と日本	教科書 図表	5-1 東アジアの変容 5-2 東南アジアの変容 5-3 南アジアの変容 5-4 西アジア・アフリカの変容	○ヨーロッパの中国進出・清の改革運動・日清戦争などから東アジアの動きについて考察させる。 ○ヨーロッパによる東南アジア・インド・西アジアへの進出・植民地化を考察させる。	6	小単元テスト
8月	課題研究	教科書 図表	選択学習	○各地域を移動したヒト(旅行家など)やモノ(伝説・陶磁器など)がどのような体験や扱いを受けたか資料を調べ800字程度のレポートをまとめる。		課題レポート
9月	第3部 現代の世界と日本 第6章 帝国と民族の時代	教科書 図表	6-1 急変する人類社会 6-2 植民地の拡大と深まる国家の対立 6-3 アジア・アフリカの抵抗運動	○19世紀～20世紀の社会の変化や人口移動・科学技術が人類にどう影響したか考察させる。 ○ヨーロッパの国民国家が帝国主義へ進んだ過程を理解させる。 ○帝国主義に対抗するアジア・アフリカの民族運動について、理解させる。	8	小単元テスト 定期考査
2学期中間考査					1	

10月	第7章 二つの世界大戦の時代	教科書 図表	7-1 第一次世界大戦	○ヨーロッパの国際関係を理解し、第一次世界大戦の背景について考察させる。 ○第一次世界大戦の過程について考察させる。 ○第一次世界大戦とロシア革命の関係について理解させる。	6	小単元テスト
11月	第7章 二つの世界大戦の時代	教科書 図表	7-2 戦後秩序の形成 7-3 世界恐慌とファシズム	○ヴェルサイユ体制と米ソの関係について理解させる。 ○ワシントン体制とアジア諸国の動きについて考察させる。 ○トルコ革命・パレスティナ問題について考察させる。 ○世界恐慌がファシズムを台頭させた過程を考察させる。	7	小単元テスト
2学期期末考査					1	
12月	第7章 二つの世界大戦の時代 第8章 冷戦と民族独立の時代	教科書 図表	7-4 第二次世界大戦 8-1 戦後世界の形成	○ヨーロッパ戦線の展開と太平洋戦争の開始について理解させる。 ○大戦の過程・占領地における抵抗運動について理解させる。 ○大戦の終結と戦後世界への影響について考察させる。 ○冷戦体制の成立とアジアの民族運動について理解させる。 ○国際連合の意義とアメリカを中心とした西側諸国について理解させる。 ○東西両陣営の変化について理解させる。	6	小単元テスト
1月	第8章 冷戦と民族独立の時代	教科書 図表	8-2 アジア・アフリカの民族運動 8-3 冷戦体制の動揺	○戦後中国の国共内戦・中華人民共和国成立について理解させる。 ○朝鮮戦争が世界に与えた影響について考察させる。 ○戦後の中東情勢・第三勢力について理解させる。 ○ベトナム戦争とアメリカへの影響について考察させる。 ○アジアNIES・ASEANの成長と世界経済について考察させる。 ○南北問題・南南問題について考察させる。	7	小単元テスト 課題レポート
2月	第8章 冷戦と民族独立の時代 第9章 グローバル化のなかの危機	教科書 図表	8-4 冷戦の終結 9-1 グローバル化とアメリカ合衆国 9-2 地域統合の模索	○東欧社会主義の崩壊について考察させる。 ○冷戦後の経済グローバル化、特にアジアの影響力増大について考察させる。 ○冷戦後の国際秩序の変化・多様化について考察させる。 ○中東やアフリカの現状について世界的な背景をふまえて考察させる。	6	定期考査
学年末考査					1	
3月	第9章 グローバル化のなかの危機 終章 21世紀に生きる	教科書 図表	9-3 動揺する中東と世界の地域紛争 9-4 アジアの変容と多様化	○冷戦後の地域紛争の歴史的背景について追求し、世界平和と国際社会の課題について考察させる。 ○科学技術や環境問題など現代世界の課題について歴史的視野から考察させる。 ○地域紛争や環境問題から解決策を考察させる。	5	小単元テスト

計 76

4 課題・提出物等

小単元テスト、課題レポート、定期考査

5 評価規準と評価方法

(1単位時間は47分間)

評価は次の5観点から行います。

(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断・表現)		(③資料活用)の技能)	(④知識・理解)
関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
人類が作り上げた歴史の流れに関心を持ち、20世紀の大戦などを通して戦争を否定し、平和な社会を建設するための自分の役割を考えることができる。	自分が調べたことや疑問に思ったことを発表し、または他者に質問することにより、自分の学習に役立てることができる。	課題レポートやテストの論述問題などで、自分が調べて学習したことを文章として表現することができる。	教科書の文章だけでなく、図表の写真や絵画・年表などを読みとり、学習に役立てることができる。	19～20世紀を中心とした世界史全般の流れを把握し、現在のわれわれに与えられた課題を理解する。

6 担当者からの一言

現代の社会に生きている我々に与えられた課題を何なのか。近現代の世界史を中心に学習することでその課題を見つけ、今後の自分で行動の役立てましょう。